

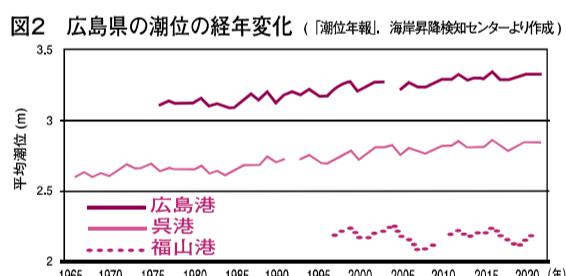
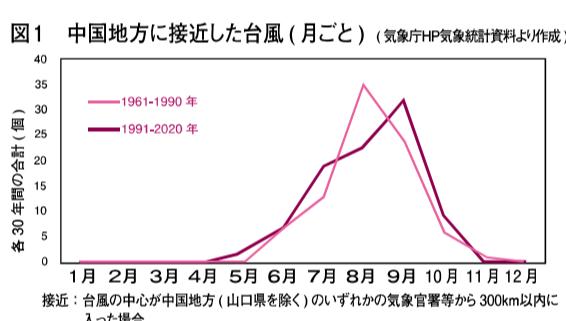
ひろしま
気候変動適応センター

(8)台風への影響

今年も台風シーズンを迎えています。中国地方（山口県を除く）に接近した台風は、月ごとに見ると、1991～2020年は9月に最多となっていました。（図1）。一方、接近した台風の数は年平均3個前後で推移しており、長期的な変動傾向は見られません。

また、日本付近が含まれる北太平洋西部の台風被害は、強風、潮位の経年変化を見る

強い熱帯低気圧の割合増加 油断することなく、早めの対応を



こうしたことから、過去に比べて勢力が強い台風が接近したり、高潮が発生しやすくなっている可能性があります（図2）。

ます。「これまで丈夫だったから」と油断することなく、早めの対策や避難行動を取り、心がけましょう。（ひろしま気候変動センターセンター）



西日本豪雨（平成30年）で、床下の清掃活動を行うボランティア（上）、2021年（令和3年）8月豪雨で土砂をかくボランティア（下）

「災害ボランティア」と聞き、みなさんはどうでしょうか？スッポンでの土砂出し、水害で疲弊した住民さんにラックスしてもらうため、理容・美容、鍼灸、アーマルセラピーなど、専門技術を活かした活

（特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター
増田 勇氣）

譲渡前講習会を毎週土曜に開催

飼育の知識や責任を学ぶ

これまで数回にわたって、広島県動物愛護センターの移転・開庁についてお知らせしていましたが、去る7月30日（日）に広島県動物愛護センター



議会 緒方副議長、前延東広島市副市長、山根広島県副知事）を行い、来庁した皆さんと共に開庁を祝いました。

開庁式の後は施設見学を行い、動物福祉に配慮し、犬猫を個別に収容できるようになった「保護室」や、譲渡後の家庭を想像しながら犬猫とふれあえる「ふれあい室」などをご覧いただきました。

さて、動物愛護センターで毎週行う、「譲渡前講習会」についてのお知らせです。

「譲渡前講習会」は犬猫の譲渡を希望される方に、適正に飼養するために必要な知識や、飼い主の責任など、最期まで犬猫を飼うために重要なことを学んでいただくものです。

8月からは毎週土曜日に実施していますので、平日はお仕の方でも受講しやすくなりました。

犬猫の譲渡を希望される方は、動物愛護センター（0848-60-8511）に講習会の予約をお願いします。皆さまのお越しをお待ちしております。

（広島県健康福祉局 食品生活衛生課）



多様な支援で生活再建・地域復興とは

がる災害ボランティアセンターの運営支援を中心、被災者の生活再建、地域復興に携わっています。

本連載では、そんな現場経験をもとに、万が一備え、地域の皆さんにも知っておいてもらいたい被災地の今をお伝えできればと思います。

本号から連載を担当させていただきます、（特）ひろしまNPOセンターの増田と申します。よろしくお願いいたします。

私は、それらの活動は誰がどのように調整されています。

せています。2014年の広島土砂災害をきっかけに、各地で災害後に立ち上げたしました。

私は、災害ボランティアとして、被災地に運び出しがて、被災者、地域のさまざまな主体により、被災者、地域のさまざまなニーズに合わせて行な二つに合わせて行なわれています。

たとえば、重機を活用した大量の土砂・流木の撤去、床下に潜つて泥の取り出しや清掃、避難所や仮設住宅での足湯、長期避難で疲弊した住民さんにラックスしてもらうため、理容・美容、鍼灸、アーマルセラピーなど、専門技術を活かした活

（特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター
増田 勇氣）

（特定非営利活動法人
ひろしまNPOセンター
増田 勇氣）